

# 平成30年度 政務活動による議員研修報告書

## 「あなたのまちの本当の財政状況を知る in 東京」

江津市議会議員 田中利徳

1、日時 平成30年9月28日（金）

①10時～12時30分 ②14時～16時30分

2、会場 東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング

TKP 東京八重洲口カンファレンスセンター

3、講座①決算状況・財政収支

講座②決算状況・財政指数

4、講師 森 裕之 氏（立命館大学政策科学部教授、博士）

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授をへて、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害（アスベスト問題など）についても公共政策論としての立場から考察。

5、講座「決算カード」から読み取れる

### ～ あなたのまちの本当の財政状況を知る ～

1、講義①の内容 10:00～12:30

ア、「決算カード」の見方について、江津市の決算カードも配布され、大まかな説明がある。

イ、近年の自治体財政の赤字問題について・・・実質単年度収支

☆新潟市の経緯から □2007年に政令指定都市へ人口81万人

・「大きな区役所、小さな市役所」

・区自治協議会

・地域コミュニティ協議会（小学校区単位を基本）

2012年「政令市にいがたの在り方検討委員会」

2016年「にいがた未来ビジョン」（新潟市総合計画）策定

- ・ 公共施設の地域別実行計画・・・無理な計画は・・・
- ・ 地域ごとにワークショップを開催したが・・・
- 新潟市の財政問題・・・119億円諸財源不足が発生  
歳入歳出等について詳しく説明がある。
- 新潟市の投資的経費の推移・地方債現在高の推移
- 新潟市と類似団体（浜松市）との比較から  
【問題点を読み取る】
  - ・ 扶助費が低い ⇨ 政策的に抑制の可能性
  - ・ 物件費が高い ⇨ 委託が多い
  - ・ 補助費等と投資・出資金・貸付金が高い ⇨ 全体として外郭団体等への負担が大きい
  - ・ 投資的経費が高い ⇨ 事業内容のチェックの必要性
- 政令都市 2016年度決算財政指標から比較検討
- 新潟市の実質収支および実質単年度収支 ⇨ 大きく赤字

## 2、講義②の内容 14:00～16:30

- 浜松市の概要
  - 人口約81万人の政令指定都市
  - 面積は1558K㎡全国2位の市域
  - 一般会計の予算規模は約2900億円
- 目的別歳出や性質別歳出、実質収支及び実質単年度収支について
- 公共施設の削減について紹介（良い例）
  - 平成21年～27年度で439施設を削減
- 阪南市の財政問題
  - 財政シミュレーション
    - 何も対策を講じない場合、2019年度には実質収支が赤字になると言う見通し。（財政調整基金残高・実質収支の将来予測から）
- 交野市の概要
  - 人口約7万8千人
  - 一般会計の予算規模は約240億円
  - 土地開発公社の経営の失敗による財政負担に苦しめられてきた。

### 【感想】

新潟市と浜松市の比較から、財政問題について詳細に講義を受けた。また、本市と人口規模の同程度の阪南市と交野市の財政問題は、本市でも起こりうる問題であると感じた。市長の良く言われる財政見通しをしっかりと持って市政を運営していかなければならないと思った。財政面での勉強不足は否めないところであるが、この度の研修で初めて本市の「決算カード」を見るようでは情けない限りであった。この研修を受け「決算カード」の見方や性質別歳出、実質収支、実質単年度収支等について理解を深めることができた。今後の議員活動に役立てたい。